

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

| | | | |
|------|---------------------------|-------|----|
| 活動分野 | 緑のおもしろ講座 柏 | | |
| タイトル | 人は何故、旅に出るのだろうか？ ～緑の森を訪ねて～ | | |
| 実施日時 | 平成31年3月24日（日）10時～12時 | | |
| 実施場所 | 柏市布施 あげぼの山農業公園資料館 | | |
| 受講者 | 19名 | FIC会員 | 7名 |

活動の内容

おもしろ講座柏のスタートから半年が経過し、今期の最終講座である。お陰様で申込者が30人ほどあり、ますますの状況であった。

今回の講座は「人は何故、旅に出るのであろうか？」というテーマに沿って、そのことが緑の森とどのように関係があるのかを解説した。

- ① 旅の語源 ② 旅の形態 ③ 旅の歴史 ④ 旅の効用 ⑤ 森と文明 ⑥ 緑の森を訪ねてとは？
⑦ 人は何故・・・という流れで話は進んだ。

特に森と文明からの後半部分は参加者には特に興味を引く内容であった。四大文明といわれた地域はその昔、森と河が都市を作り、素晴らしい文明が栄えるほど進歩していったが、現在、何故いずれもが砂漠、荒地になってしまったのか？ その理由を解説した。いかに森を守ることが重要であるかをそれぞれの事例から説き、現代でもその知恵は役立つという内容である。次にインドの古い思想で人生は四つの時期に区切って生き方を示唆している四住期という考え方があることを披露した。学生期、家住期、林住期、遊行期の四つの段階であるが、50歳から75歳までの林住期が一番大事な時期であると言う。今回、参加されている方々の年齢に一致する。仕事や家庭から卒業して林・森に庵を構えて、自らの来し方、行く末を深く瞑想する時期である。

最後に何故、人は旅をするのかを人間の祖先の暮らし、日本人の自然への捉え方を踏まえ、結論に導いた。講座終了後、初めての試みであったが、懇親会を30分ほど行い、参加者からの意見を聞いた。非常に有意義な時間で、参加者からの全講座に対する評価も5段階表示で4.5という高い評価を頂いた。4月からの新たなスタートも多いに期待が持てる。

